

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：普通河川清川災害復旧工事における動物共生多自然川づくり		
水系/河川名：七北田川水系/清川	河川分類：中小河川	
河川の流域面積：15km <sup>2</sup>	整備計画流量：78m <sup>3</sup> /s(W=1/10)	セグメント：M
事業：災害復旧	事業開始年度	平成27年度
目標設定：定量的	段階	D(実施・施工時)
課題・目的(主な)：流下能力の確保、自然河岸、河畔林の保全・再生・創出		
工法(主な)：護岸整備		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、その他		

### 背景・課題、目標設定

#### <背景>

清川は、泉ヶ岳スキー場付近に源を発し二級河川七北田川に合流する流域面積約15km<sup>2</sup>、流路延長約7kmの普通河川である。河道は、山地部から耕地部を南に向かい流れており、ほとんどが天然河岸となっている。

被災箇所の背後地は、「ゼロ村牧場」として乗馬場やレクリエーションスペースなどに利用されており、河原での水遊びやバーベキューなど、親水性が高い憩いの空間となっている。

「ゼロ村牧場」は、「馬」のほか「ヤギ」とも触れ合える施設である。「ヤギ」は放し飼いされているため、河原と牧場とを自由に動き回り、その姿は来場者の心を和ませている。

#### <目標>

平成27年9月の関東・東北豪雨では、仙台市泉ヶ岳雨量観測所において24時間降雨量が293.0mmとなる観測史上1位の記録的な大雨となり、仙台市所管の河川も多くの被災が発生した。

今回、関東・東北豪雨による出水で被災した普通河川清川において、自然環境や景観に配慮するとともに、地域の暮らしや動物との共生に配慮した多自然川づくりとして、捨石被覆工による災害復旧工事を行った。

### 取り組み内容・対策例

今回の豪雨による出水では、DHWLは背後地の地盤高にまで達した。

また、右岸の天然河岸部分は幅5m程度が削り取られ、浸食による影響は背後地の馬小屋にまで及んだ。

復旧方針と完成状況を右に示す。



### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

災害復旧工事完成後、8月22・23日の台風9号(総雨量132.5mm)及び、8月30日の台風10号(総雨量112.0mm)の影響による中規模な出水を経験した。

河川水位は河岸高の1/2を超えたが、大きな被災は発生しなかった。



### 備考